

平成25年度厚生労働科学研究費補助金□  
(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業)  
研究課題「セルフケア・セルフチェックを支援する医療提供体制と一般用医薬品の役割に関する研究」

糖尿病早期発見のための地域医療連携プロジェクト「糖尿病診断アクセス革命」

研究協力者 筑波大学医学医療系 矢作直也

研究要旨

1. 2010年10月～2013年9月の3年間に「糖尿病診断アクセス革命」プロジェクト参加薬局(東京都足立区10薬局、徳島県10薬局)で指先HbA1c検査を受けた人は2665名(糖尿病治療中の人は対象外)に達した。
2. 2665名のうち、糖尿病が強く疑われた人(HbA1c(NGSP)：6.5以上)は約12%、糖尿病予備群と疑われた人(HbA1c(NGSP)：6.0～6.4)は約16%。併せて3割近くの人が医療機関への受診勧奨となった。
3. 薬局と医療機関との地域医療連携による糖尿病早期発見・受診勧奨システムの有用性が示された。

A. 研究目的

1. 医薬連携による糖尿病や予備群の早期発見
2. そのためのしくみづくり

(東京都足立区10薬局、徳島県10薬局)で指先HbA1c検査を受けた人は2665名(糖尿病治療中の人は対象外)に達した。

B. 研究方法

1. 地域薬局来店の希望者に自己穿刺による指先HbA1c検査を受けてもらい、予備群相当以上(HbA1c(NGSP値)6.0以上)の値が出た場合は医療機関への受診勧奨を行う。ただし糖尿病治療中の人は対象外とする。
2. 上記の取り組みをさらに広めるために、薬局が自己穿刺検査に関わることについて、法律上の論点を明確化し、必要な対応については国に働きかける。
3. それらにより、自治体や健康保険組合などの公的機関がコミットできる道を開き、新たなスキームづくりへと繋げる。

2. 2665名のうち、糖尿病が強く疑われた人(HbA1c(NGSP)：6.5以上)は約12%、糖尿病予備群と疑われた人(HbA1c(NGSP)：6.0～6.4)は約16%。併せて3割近くの人が医療機関への受診勧奨となった。

D. 考察

本プロジェクトの成果により、薬局と医療機関との地域医療連携による糖尿病早期発見・受診勧奨システムの有用性が示された。同様のしくみを他の地域へ広げていくことで、全国規模で糖尿病やその予備群の早期発見が進むものと考えられる。今後への課題としては、このような活動を展開するに際し、保健所の許可を得られるかが地域ごとにまちまちであった点が挙げられる。この点に関し、現在、内閣府の規制改革会議ならびに産業競争力会議と厚生労働省・経済産業省との間で規制緩和について検討が進められている。

C. 研究結果

1. 2010年10月～2013年9月の3年間に「糖尿病診断アクセス革命」プロジェクト参加薬局

また実際の実施体制の構築においては、本プロジェクトがそうであるように、地域医療の現状・現在のしくみとの整合性を保つために、地域の医師会や薬剤師会との綿密な連携が望ましい。またその上にさらに自治体や健康保険組合などの公的機関の積極的な支援も得られれば理想的と考える。

## E. 結論

薬局と医療機関との地域医療連携による糖尿病早期発見・受診勧奨システムの有用性が示された。

## F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

### 1. 論文発表

・矢作直也：医の提言：糖尿病早期発見の新しい試み Animus 73: 51-52, 2012

### 2. 学会発表

<2011年>

第54回日本糖尿病学会年次学術集会(2011年5月19～21日, 札幌)

・升田紫, 矢作直也, 太田啓介, 熊谷真義, 宝田亜矢子, 武内謙憲, 西真貴子, 久保田みどり, 高梨幹生, 高瀬暁, 泉田欣彦, 飯塚陽子, 門脇孝：「指先採血で測定可能なHbA1c測定機器を用いた, 糖尿病早期発見の取り組み」

<2012年>

第55回日本糖尿病学会年次学術集会(2012年5月17～19日, 横浜)

・永友利津子, 金子誠, 湯浅薫, 小野佳一, 佐藤美知子, 矢富裕, 矢作直也：「POCT対応機器HbA1C微量血液分析装置A1c GEAR Sの基礎的検討」

・岩崎仁, 矢作直也, 岩部博子, 戸塚久美子, 大畑瞳, 須藤玲子, 吉田光歩, 伊藤由実子, 鈴木康裕, 松田ひとみ, 高木聡, 渋谷正俊, 小林和人, 矢藤繁, 高橋昭光, 鈴木浩明, 山田信博, 島野仁：「当院での世界糖尿病デーイベントにおける指先採血で測定可能なHbA1c

測定機器を用いた, 糖尿病早期発見の取り組み」

日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会(2012年7月22日, 東京)

・矢作直也：ワークショップ「HbA1c値・血糖値測定の意味とセルフケアへの活用」

日本学術会議・日本薬学会主催シンポジウム(2012年9月25日, 東京)

・矢作直也：「『地域におけるチーム医療』～糖尿病診断アクセス革命から見えてきたこと～」

第45回日本薬剤師会学術大会(2012年10月7日～8日, 浜松)

・長井彰子, 水野保, 入間悟, 西澤啓子, 残間茂, 堀江勉, 藤田義人, 金子弘, 鈴木晃一, 矢作直也：「未発見糖尿病対策としての指先微量採血法によるHbA1c検査実施の有効性の検証」

第10回日本セルフメディケーション学会(2012年10月13日～14日, 東京)

・唐澤綾, 生田美幸, 東海林希実, 岡本有史, 山本章正, 矢作直也, 成井浩二, 渡辺謹三：「保険薬局に期待される新たな機能～簡易血液検査サービスに対する顧客ニーズ分析～」

<2013年>

平成24年度第2回JASDI(日本医薬品情報学会)フォーラム(2013年1月12日, 東京)

・矢作直也：「薬局での糖尿病早期発見と受診勧奨の試みー指先HbA1c検査をベースとした医薬連携モデル「糖尿病診断アクセス革命」ー」

第4回日本プライマリ・ケア連合学会学術集会(2013年5月17～19日, 仙台)

・矢作直也：ワークショップ13「糖尿病診断アクセス革命～より早い発見のために」

第17回日本地域薬局薬学会年会(2013年6月30日, 東京)

・中田素生, 岩下典江, 大上勝行, 都築和栄, 宮崎恭治, 岡田洋子, 福原由起子, 三谷昌敬, 角本則子, 毛利正之, 美馬一彦, 矢作直也：

「徳島県における医薬連携による糖尿病早期発見プロジェクト「糖尿病診断アクセス革命！徳島」の成果」

第13回日本糖尿病情報学会年次学術集会  
(2013年8月23～24日, 徳島)

・矢作直也: シンポジウム3(地域から守る糖尿病患者)「糖尿病診断アクセス革命について」

第46回日本薬剤師会学術大会(2013年9月22～23日, 大阪)

・矢作直也: 分科会8「医薬連携による糖尿病早期発見プロジェクト「糖尿病診断アクセス革命」

・長井彰子, 水野保, 西澤啓子, 入間悟, 残間茂, 阿部裕一, 浅見恭史, 鈴木晃一, 矢作直也: 「医薬連携による糖尿病早期発見プロジェクト「糖尿病診断アクセス革命」から浮き彫りにされた薬剤師の将来ビジョンに関する考察」

・有田愛, 山本哲也, 小濱嵩大, 宮崎恭治, 岡田洋子, 都築和栄, 中田素生, 矢作直也: 「徳島県での医薬連携による糖尿病早期発見プロジェクト「糖尿病診断アクセス革命！徳島」の成果(徳島県の現状)」

・山本哲也, 小濱嵩大, 有田愛, 宮崎恭治, 岡田洋子, 都築和栄, 中田素生, 矢作直也: 「徳島県での医薬連携による糖尿病早期発見プロジェクト「糖尿病診断アクセス革命！徳島」の成果(法的側面の検討)」

・小濱嵩大, 有田愛, 山本哲也, 宮崎恭治, 岡田洋子, 都築和栄, 中田素生, 矢作直也: 「徳島県での医薬連携による糖尿病早期発見プロジェクト「糖尿病診断アクセス革命！徳島」の成果 結果報告」

・宮崎恭治, 岡田洋子, 都築和栄, 有田愛, 小濱嵩大, 山本哲也, 中田素生, 矢作直也: 「徳島県での医療連携による糖尿病早期発見プロジェクト「糖尿病診断アクセス革命！徳島」の成果(参加薬局として1)」

・都築和栄, 宮崎恭治, 岡田洋子, 有田愛, 小濱嵩大, 山本哲也, 中田素生, 矢作直也: 「徳島県での医薬連携による糖尿病早期発見プロジェクト「糖尿病診断アクセス革命！徳島」の成果(参加薬局として2)」

第35回秋田県薬学懇話会学術大会(2013年12月14日, 秋田)

・矢作直也: 「地域医療連携プロジェクト「糖尿病診断アクセス革命」」

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

3. その他

該当なし

参考文献

・矢作直也: 糖尿病診断アクセス革命 SCICUS, 2010